



さあ、わたしたちの食を巡る未来を
いっしょに考えてみましょう。

持続可能な食と地域を 考える SDGsと食料安全保障の視点から

2019年12月17日[火]

受付開始 14:00
開会14:40 ~ 終了17:00

会 場

東京農業大学 世田谷キャンパス内 百周年記念講堂

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 電話03-5477-2207

定 員

500名

(定員に達し次第締め切ります)

入 場 料

無 料

お問い合わせ先

株式会社共同通信社
情報事業部

電 話

03-6252-6044

主催:全国農業協同組合中央会、株式会社共同通信社

協力:全国町村会、東京農業大学、日本経済団体連合会、日本生活協同組合連合会

後援:神奈川新聞社、埼玉新聞社、千葉日報社、東京新聞

食や地域を取りまく状況は大きな転換点を迎えている。日本では農家の高齢化や農地の減少が進む一方で、世界では人口が増大し、世界中で災害も増加している。私たちはこれからも、安定的に食を享受できるのか。そして、地域社会は持続できるのか。今年度は食の憲法ともいえる「食料・農業・農村基本法」にもとづく基本計画の改定がすすめられる。今こそ、持続可能な食と地域をつくっていくため、幅広い国民的な議論を展開する時期だ。

登壇者プロフィール



中家 徹

全国農業協同組合中央会（JA全中）
代表理事会長

1949年、和歌山県西牟婁郡三栖村（現：田辺市）生まれ。1972年に地元の紀南農協へ入組。JA紀南組合長、JAグループ和歌山会長などを経て、2017年よりJA全中会長。実家は梅とミカンをつくる果樹農家。



羽田健一郎

全国町村会 経済農林委員長
長野県長和町長

1970年羽田政事務所入所、大臣秘書官、内閣総理大臣秘書を経て、97年和田村長就任。町村合併により、2005年長和町長就任。農業集落排水事業の下水道統合事業などの業績を重ねている。現在、長野県町村会会長。



堀田和彦

東京農業大学
国際食料情報学部 教授

日本農業経済学会副会長、元食農資源経済学会会長などを歴任。食農連携コーディネーターとして、各地の農商工連携や6次産業化の事例をサポート。著書に『食の安心・安全の経営戦略』（日本農業経営学会学術賞受賞）など多数。



井伊基之

日本経済団体連合会 農業活性化委員会
企画部会長
日本電信電話株式会社
代表取締役副社長

2017年東日本電信電話株式会社代表取締役副社長。18年日本電信電話株式会社代表取締役副社長としNTTグループの研究開発／技術戦略を統括。19年経団連農業活性化委員会企画部会長に就任。



山内明子

コープデリ生活協同組合連合会
常務理事

日本生活協同組合連合会（日本生協連）入協。2018年生活協同組合連合会コープみらい（コープみらい）へ移籍後、コープデリ生活協同組合連合会（コープデリ連合会）へ出向。現在、経営企画、CSR、渉外・広報を管掌。



森崎友紀

料理研究家

管理栄養士・製菓衛生師・中医薬膳指導員・チャイルドマインダーの知識、経験を生かし、初心者でも楽しめる簡単レシピを考案。各種イベントの講師、メニュー開発、各種メディアで活動中。



石井勇人

株式会社共同通信社取締役
共同通信アグリラボ所長

1981年に社団法人共同通信社入社、ワシントン支局、経済部次長、前橋支局長、編集委員室次長などを経て2019年9月から株式会社共同通信社取締役・アグリラボ所長。15年から19年まで「農政ジャーナリストの会」会長。著書に「農業超大国アメリカの戦略」（新潮社）、共著に「亡進化する日本の食 農・漁業から食卓まで」（共同通信社編、PHP新書）など。岐阜市出身。

プログラム

14:40～14:45	開会・あいさつ	東京農業大学 学長	高野 克己
14:45～16:10	課題提起・取り組み発表・意見交換	進行：石井勇人	
	登壇者：全国農業協同組合中央会 代表理事会長	中家 徹	
	全国町村会 経済農林委員長	羽田健一郎	
	東京農業大学 国際食料情報学部 教授	堀田 和彦	
	日本経済団体連合会 農業活性化委員会 企画部会長	井伊 基之	
	コープデリ生活協同組合連合会 常務理事	山内 明子	
	料理研究家	森崎 友紀	
16:10～16:20	〈休憩〉		
16:20～16:55	議論のまとめ・質疑応答		
16:55～17:00	閉会		

申込方法

①株式会社共同通信社HP

<https://www.kyodo.co.jp>内の「持続可能な食と地域を考える」シンポジウムのバナーよりお申し込みください。

②QRコード

スマートフォンで左のQRコードを読み取り、お申し込みください。



③ハガキまたはファクス

ハガキまたはファクスでもお申し込みができます。

氏名、郵便番号、住所、性別、年齢、メールアドレス、登壇者への質問を記入して送付してください。

ハガキ：〒105-7508 東京都港区東新橋1-7-1 汐留メディアタワー8階

株式会社共同通信社内

「持続可能な食と地域を考える」シンポジウム事務局宛

ファクス：03-6252-6051

会場までのアクセス

東急田園都市線

●用賀駅から徒歩約20分

〔バスでお越しの場合〕用賀～農大前…約10分

東 急 バス：祖師谷大蔵駅行（用01）／渋谷駅行（渋22）

小田急線

●経堂駅から徒歩約15分

●千歳船橋駅から徒歩約15分

〔バスでお越しの場合〕千歳船橋駅～農大前 下車…約5分

東 急 バス：渋谷駅行（渋23）／等々力操車所行（等11）／用賀駅行（用01）

東京農業大学 世田谷キャンパスマップ



わたしたちは事業活動を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

SDGs(Sustainable Development Goals；持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連総会で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために、2030年までに達成すべき17のゴールです。わたしたちは、これまでSDGsと関連する持続可能な食と地域と連携の視点からさまざまな活動に取り組んでおり、今後も事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献していきます。

